



第4回 | 化学イノベーションシンポジウム

明日をひらく化学のとびら

期日：平成18年11月12日(日)10:30~17:00

会場：九州大学医学部百年講堂大ホール／中ホール(福岡市東区馬出 3-1-1)

[交通] 地下鉄2号線「馬出九大病院前」駅下車、1番出口より徒歩5分

平成18年度 科学研究費補助金研究成果公開促進費補助事業

プログラム：大ホール(対象:学生・教員・企業研究者・一般市民など)／総合司会：石黒慎一(日本化学会九州支部長・九州大学大学院理学研究院教授)

開会挨拶(10:30~) 藤嶋 昭 日本化学会会長

マテリアル分野

1 フォトクロミック分子材料の未来
10:40~11:15 入江正浩 九州大学大学院工学研究院教授

2 夢のナノカーボン材料“フラーレン”—その特徴とビジネス化について
11:15~11:50 有川肇幸 フロンティアカーボン(株)技術センターセンター長
昼食・休憩

環境分野

3 水素エネルギー社会の鍵：生物に学ぶ水と酸素の相互変換反応
13:00~13:35 成田吉徳 九州大学先端物質化学研究所教授

4 環境調和型光触媒技術を応用した製品開発
13:35~14:10 佐伯義光 東陶機器(株)執行役員総合研究所所長

高分子材料分野

5 LCD用の液晶分子設計
14:10~14:45 後藤泰行 チッソ(株)執行役員液晶事業部長
休憩

バイオ分野

6 細胞の言葉を聞く分子を用いる新しい治療法、診断法
15:00~15:35 片山佳樹 九州大学大学院工学研究院教授

7 バイオコンビナトリアルケミストリー：難化学合成物質の包括的生産に向けて
15:35~16:10 割石博之 九州大学大学院農学研究院教授／九州大学バイオアーキテクチャーセンター教授(兼任)

エネルギー分野

8 21世紀を担う水素の材料科学
16:10~16:45 北川 宏 九州大学大学院理学研究院教授

閉会挨拶(16:45~) 梶山千里：九州大学総長

プログラム：中ホール(対象:高校生・一般市民など)／総合司会：谷口 功(日本化学会理事・熊本大学工学部長)

開会挨拶(13:00~) 藤嶋 昭 日本化学会会長

化学と社会

1 化学と社会を考える
13:10~14:00 梶山千里 九州大学総長

安全と分析化学

2 忍び寄る白い粉：覚せい剤とその仲間—毛髪が語る乱用の軌跡
14:00~14:50 中島憲一郎 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授
休憩

自然に優しい化学製品

3 植物からできるプラスチックと新しい循環社会
15:05~15:55 白井義人 九州工業大学大学院生命体工学研究科教授

生物燃料電池

4 バイオ燃料電池への挑戦とその未来
15:55~16:45 谷口 功 熊本大学工学部長

閉会挨拶(16:45~) 香月 颯 日本化学会理事・九州大学大学院理学研究院教授

定員：大ホール：550名なり次第。中ホール：120名なり次第。

参加費：(資料・記念品付)無料。

懇親会：17時より。参加費3,000円(参加費は懇親会場でお支払い下さい)。

申込方法：①氏名、②所属・役職、③連絡先(〒、住所、電話番号、FAX番号、e-mail)、

④参加希望ホール(大ホール・中ホールの別)、

⑤懇親会参加の有無を明記し、e-mailで下記あてお申し込みください。

申込者には参加証を送付します。

申込先：〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 (社)日本化学会企画部 石原

電話：東京(03)3292-6163、FAX：東京(03)3292-6318、

e-mail:innov@chemistry.or.jp

主催：(社)日本化学会、同九州支部

共催：(財)化学技術戦略推進機構、

(予定) (社)日本化学工業協会、九州大学

後援：(独)科学技術振興機構、(社)応用物理学会、

(予定) (社)高分子学会、(社)化学工業会、

(社)日本セラミックス協会、(社)電気化学会、

(社)日本分析化学会、(社)日本薬学会、

(社)有機合成化学協会、福岡県教育委員会、

福岡市教育委員会、西日本新聞社、

九州大学21世紀COEプログラム「分子情報科学の機能イノベーション」、

九州工業大学21世紀COEプログラム「生物とロボットが織りなす脳情報科学の世界」、

熊本大学21世紀COEプログラム「衝撃エネルギー科学の深化と応用」、

長崎大学21世紀COEプログラム「放射線医療科学国際コンソーシアム」